①

三陸山田 カキまつり

4月26日、旬の味覚カキをまるごと味わう「三陸山田カキまつり」が山田魚市場で開かれ、町内外から1万2００人が訪れました。山田町商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会(阿部幸榮(こうえい)会長)が、当町のカキを多くの人に味わってもらおうと通年事業「三陸山田楽山楽水の郷2００9」の一環として開催したもので、今年で5回目となります。

訪れた皆さんは、市価より安く販売されるカキやホタテ、ウニなどの海産物を次々に買い求めながら、その場でむいてもらったりバーベキューコーナーで焼いたりして新鮮な海の幸を味わっていました。

また、カキ汁や直径約2・5㍍のジャンボ鉄板で作る「春ガキの焼きそば」の試食が行われたほか、二本かぎを使い2分間取り放題の「カキ・ホタテすくい」やカキむき体験なども行われ、子供から大人までが次々と挑戦。カキの魅力を存分に堪能していました。

③

②

①大人気の「春ガキの焼きそば」試食②新鮮な海産物を買い求める皆さんでにぎわいました③買ったばかりのカキをその場で味わう姿も

山田 アサリまつり

5月24日、織笠川河口で「山田アサリまつり」が開かれました。春の風物詩である潮干狩りをたくさんの人に楽しんでもらおうと、町と山田町観光協会(大杉繁雄(しげお)会長)が2年ぶりに開催したものです。絶好の行楽日和に恵まれた当日、会場は町内外から訪れた3０００人の家族連れなどでにぎわいました。

午前8時のスタートを告げる号砲とともに、くま手やシャベルなどを手に潮の引いた干潟へと繰り出す参加者。掘り出したアサリは1人2㌔まで持ち帰ることができるとあって、アサリが隠れていそうな場所を探しながら潮干狩りに夢中の様子でした。子供たちも小さな手で次々と大物のアサリを掘り出すと、「あった、あった」と歓声を上げながら楽しさいっぱいの笑顔を浮かべていました。

また、会場ではアサリのバター焼きやアサリ汁、地元海産物などの販売も行われ、訪れた人たちは潮風漂う浜辺の春を満喫していました。

①

③

②

①潮の引いた織笠川河口はたくさんの家族連れなどでにぎわいました②子供たちも元気いっぱいに頑張ります③食欲を誘う香りに海産物の試食販売には長蛇の列が